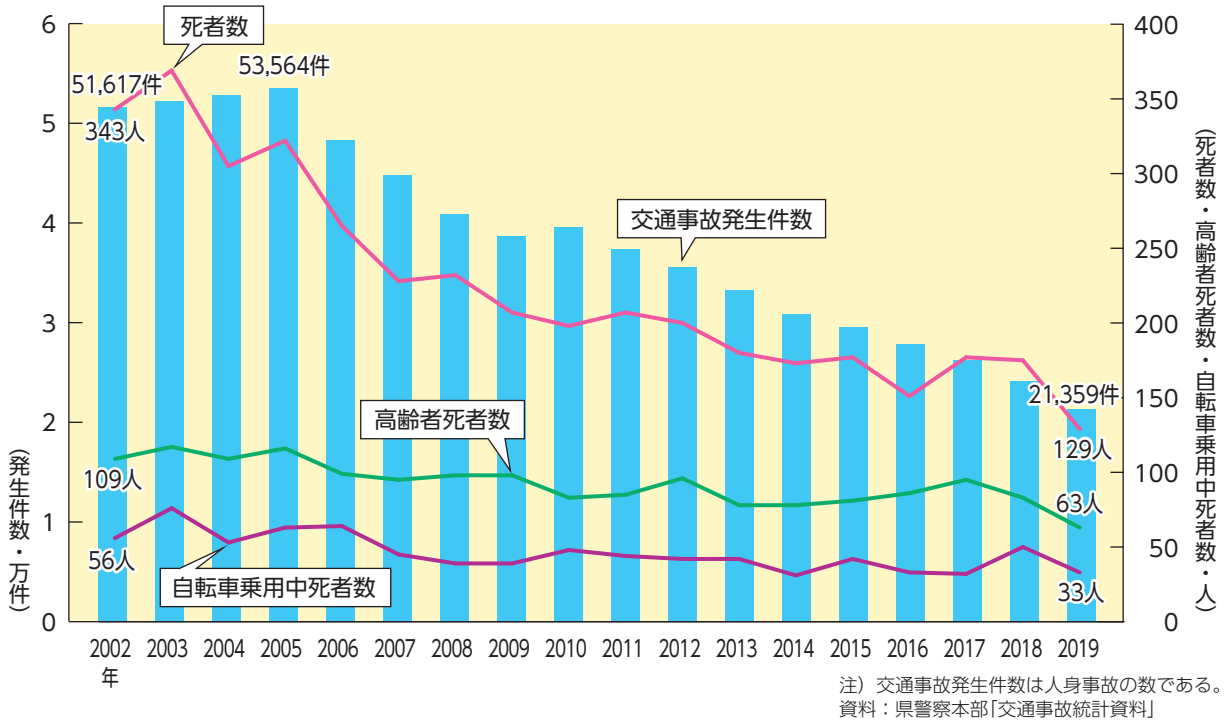


16 交通事故・犯罪

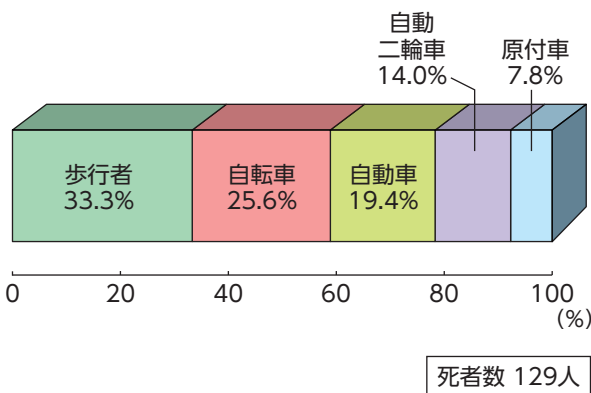
① 交通事故の発生件数と死者数の推移



↑ 2019年中の交通事故の発生件数は、前年より2,764件少ない21,359件でした。
交通事故による死者数は年々減少傾向にあります。また、「高齢者死者数」は前年より20人減少して63人となっています。

🌞 埼玉県の1日 🌙 交通事故(人身事故)発生件数 59件

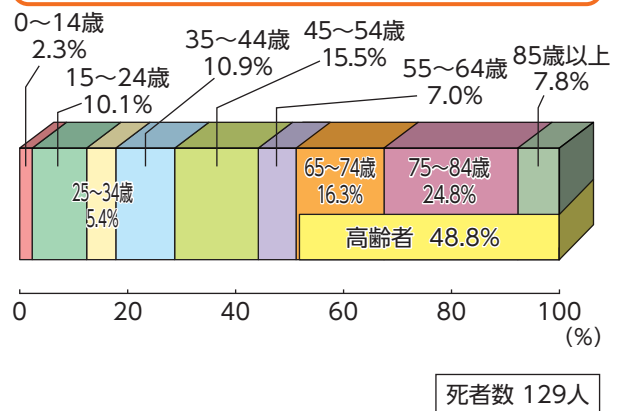
② 状態別の交通事故死者数の割合 (2019年)



資料：県警察本部「交通事故統計資料」

↑ 交通事故による状態別死者数は、歩行中が43人で最も多く、次いで自転車33人となっています。

③ 年代別の交通事故死者数の割合 (2019年)



資料：県警察本部「交通事故統計資料」

↑ 交通事故による死者数を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者が63人と、全体の48.8%を占めています。



④ 刑法犯の認知件数と検挙率の推移

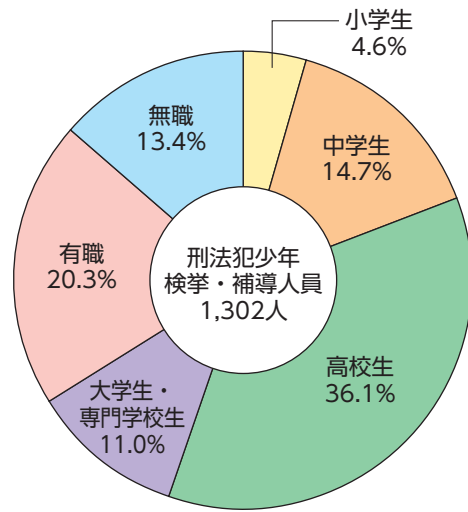


資料：県警察本部HP「犯罪統計」

↑ 2019年の刑法犯の認知件数は55,497件で、前年より4,504件(7.5%)減少しました。また、検挙件数は18,750件で、認知件数に占める割合(検挙率)は33.8%となり、前年を3.1ポイント上回っています。

🌞 埼玉県の1日 🌙 刑法犯認知件数 152件

⑤ 刑法犯で検挙・補導された少年の学職別人員の割合 (2019年) (刑法に触れる行為をして補導された触法少年を含む)



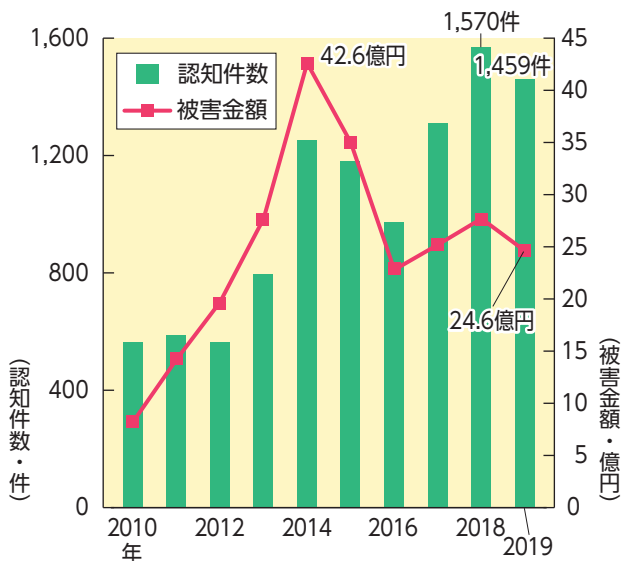
注) 1 刑法犯少年とは14歳以上20歳未満の者で、刑法等に規定する罪(交通関係を除く。)を犯した(犯罪に触れる行為をした)少年。

2 触法少年とは犯罪に触れる行為をした14歳未満の少年。

資料：県警察本部HP「少年非行白書」

↑ 2019年中に検挙・補導された少年の数は1,302人でした。最も多かったのは高校生で全体の36.1%でした。

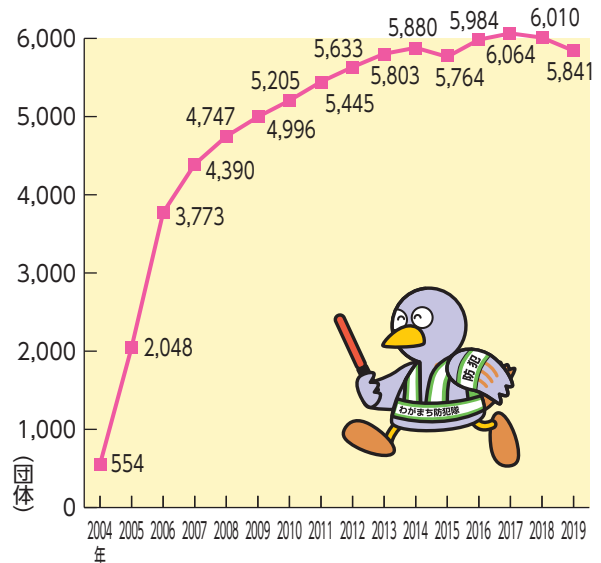
⑥ 特殊詐欺の認知件数・被害金額の推移



資料：県警察本部HP「犯罪統計」、県警察本部HP

↑ 2019年中の特殊詐欺被害は、認知件数1,459件、被害金額は24億5,776万円でした。

⑦ わがまち防犯隊の数の推移 (各年末現在)



注) 5人以上で平均して月1回以上活動している団体の数である。

資料：県防犯・交通安全課HP

↑ 県内の自主防犯活動団体(愛称:わがまち防犯隊)の数は、5,841団体(2019年末現在)で日本一です。わがまち防犯隊では、地域で自主的に防犯パトロールや子供の見守り活動などの防犯活動を行っています。